



風船で花の種を飛ばす方法をまとめた高田さん—静岡市役所静岡庁舎

市長の一言きっかけ

花の種で笑顔届け

静岡サレジオ小（静岡市清水区）6年の高田愛弓さんが風船に花の種を付けて飛ばすイベントを考案し、3月13日に全校児童が参加して行われることになった。「笑顔を送る」をテーマにした。高田さんは、市内で行われた路線バスコンクールで優勝した。高田さんは、市内で行われた路線バスコンクールで優勝した。高田さんは、市内で行われた路線バスコンクールで優勝した。

で、田辺市長が「静岡の人が笑顔になれば、静岡に来た人も笑顔になる」と呼び掛けたのを聞き、風船飛ばしを考えたという。

校内で5月からマリールールドの苗を購入して育て、10月下旬に花から種を収穫。当日は児童がメッセージを書いた封筒に種を入れ、同校の運動場で362人が風船を飛ばす予定だ。

環境に負荷をかけないよう風船などは土に返る素材を選んだり、飛ばし方を調べてスケッチブックにまとめたりした。開催を知らせる市長あての手紙も市役所に届けた。高田さんは「風船を飛ばす瞬間、いろんな人に空を見上げてほしい」と話している。

2014年2月27日朝刊 中部版

- ① サレジオ小の高田さんが考えたイベントはなんですか。
- ② このイベントを考えたきっかけはなんですか。
- ③ 環境を考慮して工夫したことはなんですか。
- ④ あなただったら、どんなイベントを考えますか。

年 組 名前